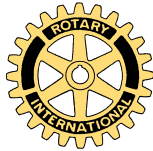


THE ROTARY CLUB OF KARIYA



Weekly



2008～2009年度 国際ロータリー 李 東建（リー・ドンカン）会長テーマ

Make Dreams Real 夢をかたちに

創立 1954年3月8日
承認 1954年3月30日

例会日時 毎週月曜日
12:30～13:30
例会場 刈谷市新栄町3の26
刈谷商工会議所内
事務所 TEL (0566)22-2111
FAX (0566)25-2111
メール kariyarc@katch.ne.jp
ホームページ http://www.kariya-rotary.com
会長 塚本 幸夫
幹事 廣根 実
会報委員長 今村 順

この会報は、地球環境保全に考慮し再生紙を使用しています。

第2633回例会プログラム

[当年度=34回目；当月=4週目]

2009年（平成21年）4月27日(月)

1. 例会……………〈司会：プログラム委員会〉

- 12:28 1. チャイム
12:30 2. 点鐘……〈会長〉
3. 開会宣言
4. ロータリーソング斉唱……日も風も星も
5. 講師・ゲスト並びにビジター紹介
6. 食事
- 12:45 7. 会長挨拶並びに会長報告
8. 幹事報告
9. 出席報告
※第3四半期皆出席表彰（出席委員会）
10. 委員会報告
11. ニコニコボックス報告
12. 次週並びに次々週のプログラムの予告
（5/4）……休 会（法定休日）
（5/11）……
クラブフォーラム（社会奉仕委員会）
講師 刈谷市教育委員会文化振興課
学芸員 村瀬 典章 様
（紹介者 加藤 真治 会員）
- 13:00 13. 本日のプログラム
卓話 「心のマッサージ」
講師 株式会社ハートフルコミュニケーションズ
取締役総務部長 内藤 淳子 様
（紹介者 南 健 会員）
14. 謝 辞
15. 点 鐘……〈会長〉
16. 閉会宣言

13:30 17. 散 会

出席

会員総数 94名 出席免除 22名
出席義務者+免除者の内例会出席者 87名
欠席 7名 出席率 91.95%
前々回（4/13）の出席率 100%

会長報告

- 4月18日、刈谷市民会館において国際交流協会の総会が行われ、出席してまいりました。
- 前田孝司会員と加藤俊二会員に、ロータリー財団よりマルチプル・ポールハリス・フェローのピンが届きましたので、贈呈させていただきます。
- 吉原孝彦会員に、ロータリー財団よりベネファクターの認証状とピンが届きましたので、贈呈させていただきます。

幹事報告

- 5月のロータリーレートは4月と同じく98円です。できましたら毎年一人100ドルの達成に向けて皆様のラストスパートをよろしく願いいたします。
- 先日FAXで連絡させていただきましたが、GW中の事務局は4/29～5/6までお休みでございます。この間緊急の連絡事項がございましたら私の携帯へお願いいたします。
- 本日例会終了後、第11回理事会を行いますので、ご関係の皆様はよろしく願いいたします。

会長あいさつ



予防接種

塚本 幸夫

天然痘により17世紀のヨーロッパでは6千万人が死亡、1770年のインドの流行では300万人が死亡した等、多くの記録が残っています。日本では明治年間に、2～7万人程度

の患者数の流行(死者数が5,000～2万人)が6回発生し、第二次大戦後の1946年には18,000人程の患者数の流行がみられ、約3,000人が死亡しました。

18世紀後半にエドワード・ジェンナーは牛痘を接種することで、致命率の高かった天然痘に対し予防効果が高いことを発見しました。この種痘法が開発されたのが予防接種の歴史の始まりです。日本へは1849年に伝えられ、その後明治政府によって積極的に接種が進められました。1980年5月にWHOの世界根絶宣言が出され、それ以降の患者の発生は報告されていません。

ジェンナーがワクチンを用いた後、19世紀後半になり初めてロベルト・コッホが、感染症は病原性微生物によって引き起こされ、個々の病原体はそれぞれ特異的な病気の原因であることを証明しました。1880年代には、ルイ・パスツールがニワトリコレラおよび破傷風のワクチンを開発し、狂犬病犬に咬まれたヒトに破傷風のワクチンが初めて治験され劇的な成功を収めました。このような臨床面での成功により、1890年にエミール・フォン・ベリングと北里柴三郎は、ワクチンを受けた固体の血清中にワクチンに関係する病原菌と特異的に結合する物質を発見し、抗体と名付けました。1899年にジュール・ボルデが抗体と結合して病原細菌を破壊する血清成分である補体を発見することで、ワクチン接種による生体防御機能が明らかになりました。

このような免疫学の応用面での最大の成果であるワクチンの予防接種により、重大な感染症の発生が抑えられると同時に、重大なワクチンの副反応が目立つようになりました。種痘では、10～50万人接種あたり1人の割合で脳症が発生しました。ポリオワクチンではワクチン株由来の麻痺症例が発生しています。

現在予防接種法で予防接種が定められているのが、ジフテリア、百日咳、破傷風、ポリオ、麻疹、風疹、日本脳炎、インフルエンザ(65歳以上)となります。任意接種では、インフルエンザ、水痘、おたふくかぜ、A型肝炎、B型肝炎があります。

記憶に新しい関東地方での麻疹の流行は、ワクチン接種率の低下、流行時に獲得されていた追加免疫効果(ブースター効果)が得られないことによる抗体量の減少が原因とされています。重大な感染症の発生が稀になり、予防の認識が希薄になってきているのではないのでしょうか。ワクチンに副反応があることを留意する必要はありますが、予防接種により病原菌の抗体を獲得し、その抗体を作り出す力を強めるために、自己管理による免疫機能の向上が求められているのではないのでしょうか。

卓 話

「心のマッサージ」

株式会社ハートフルコミュニケーションズ
取締役総務部長 内藤 淳子 様



私はハートフルコミュニケーションズにおいて、ヒプノセラピストとして、カウンセリングやセラピーをやらせていただいております。

これは、呼吸法とイメージを使って心のマッサージを行うものです。

「病は気から」と申しますが、血液の流れが悪くなると脳血栓や心筋梗塞などの大きな病気を引き起こします。「気」の流れも滞りますと、心の病気になりやすくなったり、身体の病気になりやすくなります。「気」の流れを良くし心をマッサージすることで、身体の疲れを癒すだけでなく、心の疲れも癒そうというものです。

私たちが日常生活を送る中で、気がつかないうちに小さなストレスが少しずつ溜まっていきます。そして気がつくと、ストレスで心が一杯一杯になって、どうもおかしいなと病院に行ったら、うつ病の診断を受けて会社を休んでしまうことにもなります。ストレスをなるべく溜め過ぎず、なるべく普段の生活の中で、いかにストレスをうまく流せるかが、とても大切だと思います。

本日は、その一つの方法として私が行っている、ヒプノセラピーのリラクゼーションセミナーをご紹介しますと思います。このセミナーによって「気」の流れがとても良くなりますので、セミナーを受けた方からは、何かスッキリした、気持ち良くなったという声をよくいただきます。滞っていた「気」の流れが、スムーズに流れるようになったためだと思います。

皆さんは、小学校時代に裸電球の実験をされた経験はないでしょうか。裸電球に電気を流すと、フィラメントがぱあっと光り輝く実験です。電気がうまく流れると光り輝き、うまく流れないとチカチカしたり暗くなったりしますね。「気」の流れとはそういうものだと思っていたら、分かります。分かります。分かります。「気」の流れの良い人は、オーラがある、輝いている、すごく存在感がある、などと言われます。

それでは、どういったセミナーなのか、実際に体験していただくのが一番だと思いますので、これから皆様を15分間ほど、気持ちの良い眠りの世界にお誘いしたいと思います。その際に、深呼吸を5回ほど繰り返した後で、朝の公園のように気持ちの良い場所や、ご自身にとって心地の良いものをイメージすることが、リラックスできるコツになります。

この呼吸法とイメージは、ご自宅のお風呂やソファだけでなく、お仕事の休憩時や電車の中でも行うことができます。日常で使っていただくことで、ストレスをずいぶん流すことができますので、ぜひ活用していただきたいと思います。

第11回理事会

- I 会長挨拶 〈会 長〉
- II 議 題
 - 1. 5・6月のプログラム（案）について
 - 〈クラブ奉仕委員長〉
 - 〈プログラム委員長〉
 - 2. 新入会員について 〈幹 事〉
 - 3. 創立55周年収支報告について〈55周年実行委員会〉
 - 4. 刈谷山車祭補助金について 〈社会奉仕委員長〉
 - 5. ローターリー文庫について 〈社会奉仕委員長〉
 - 6. カキツバタ支援金について 〈環境保全委員長〉
 - 7. 北朝鮮拉致被害者家族に対する支援金について 〈幹 事〉
 - 8. その他